

多額な基金の一部を市民負担の軽減に



宮内 博 議員
動画視聴

問 新年度から国保税や介護保険料の引き上げを提案している。国保税では、所得200万円の4人家族で、所得の2割が国保税負担になる。12歳から18歳への減税措置も全廃になる。165億円もの基金の一部は、市民の負担軽減に活用すべきではないか。

答 国保に必要な財源は、自ら確保することが基本であり、県が示した標準保険料率を基に税率を改定した。介護保険料では、結果として保険料基準額で月額480円の上昇となったが、一定程度の保険料上昇を圧縮でき負担の抑制ができた。

鹿児島空港運用時間延長による騒音対策の強化を

問 鹿児島空港の運用時間延長に伴い、国に要望した防音壁の設置は進んでいるか。騒音の大きい地域で、住民が要望する場所での騒音測定を行い、基準値を超える場合は、騒音防止対策をとるべきではないか。

答 騒音対策は、機会があるごとに要望を重ねている。昨年11月には国交省による騒音実態調査が実施されており、収集したデータの解析が行われている。防音対策の必要性については、今回の調査結果を踏まえて検討が行われる。

その他の質問

・地熱発電所問題について
・平和問題について

子育て支援環境の拡充を



前島 広紀 議員
動画視聴

問 小学生の放課後の安全や適切な遊び場及び生活の場を提供する施設としての放課後児童クラブの現状はどうか。また、夏休みなどの長期休暇時の受け入れ対策として、学校の空き教室を活用できないか。

答 平成29年5月1日現在で、市内には、自主事業を含む49カ所の放課後児童クラブが運営され、約1700人の児童が登録・利用している。小学校ごとの児童数の推移を把握しながら、施設の整備等を実施している。空き教室の活用としては、平成28年度から青葉小で実施している。



愛甲 信雄 議員
動画視聴

超高速ブロードバンドの早期整備を

問 超高速ブロードバンドを地域格差なく早急に整備しなければ、企業や若者の流出も懸念される。進捗状況はどうか。

答 本市の超高速ブロードバンドは、国分・隼人地区の平野部と、溝辺地区の空港周辺以外は未整備で、喫緊の課題である。霧島市地域情報化推進委員会で、本市に適した整備手法を調査・研究している。また、先般、有識者と市長、両副市長、関係課との情報交換を行い、早期実現性の高い超高速ブロードバンド整備について教示いただいた。当初予算では計上していないが、条件が整いつつあるところから

予算を確保して取り組みたい。

ノーマイカーデーなどを利用し路線存続を図れ

問 JR減便について、JR九州や周辺自治体、関係団体との協議はしたのか。また、市職員の利用促進を図れないか。

答 JR九州に現状維持を強く求めたが、ダイヤ見直しには応じない姿勢である。周辺自治体や、関係団体との協議はまだだが、連携を図りたい。職員の鉄道利用は、市民の利用促進啓発活動と併せて検討したい。



大隅横川駅とはやとの風

世帯所得の増加策を検討せよ



山口 仁美 議員
動画視聴

問 本市では、20代以上の人口階層すべての年代で女性が多く、その平均所得は低い。課題と対策を示せ。

答 女性は結婚・妊娠・出産・育児などが理由の離職や非正規雇用の率が高く、勤続年数や管理職比率の差につながり男女の格差が出ている。可能な限り就労を継続できることや、再就職しやすい環境整備が重要と考える。関係機関や団体と連携を図り、男女がともに能力を発揮し、希望する働き方ができる環境づくりに努めたい。

茶業振興について



木野田 誠 議員
動画視聴

問 2020年に南九州市で「全国茶品評会」が開催されるが、対応策をどう考えるか。

答 毎年開催される同大会でも優秀な成績を納められるよう、生産者や関係機関とこれまで以上に連携を深める。出品助成や生産者への指導など、継続的な支援を行う。

答 お茶は毎年受賞し、畜産は5年に1回の大会でも受賞できた。専門的な職員の指導、助言は重要である。イベントに向けて、適正な配置を考えなければならぬ。スペシャリストの職員を育てていく対策を考えていく。

豪雨に対する防災計画について

問 災害を想定し、行政でやるべきこと、地域でやるべきこと、自分自身でやるべきことを互いに常に認識しておくことが大事だと思うがどうか。

答 本市では、24時間の情報連絡体制をとっており、早めの避難情報を発表している。災害種別ごとの避難所見直しもしている。自主防災対策として、自分の身は自分で守るといった観点から、情報伝達を受ける側の対応の重要性を含め周知していく。

隼人駅周辺の活性化を図れ



松枝 正浩 議員
動画視聴

問 隼人駅と鹿児島神宮をつなぐエリアの活性化について、行政主導によるまちづくりを行うことはできないか。

答 2つの核をつなぐエリアの活性化は、地域にとって重要な課題の一つであると考えている。既存の支援策に加え、新たな支援策にも積極的に取り組み、地域と一体となって地域活性化の機運を高めることができるよう、商工会や通商会議など関係機関との連携を密にし、「産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり」に努めたい。

教育現場における「薩摩義士」の精神浸透で、心豊かな青少年育成を

問 「特別の教科 道徳」で、副読本「薩摩義士の話」があるが、活用促進はできないか。

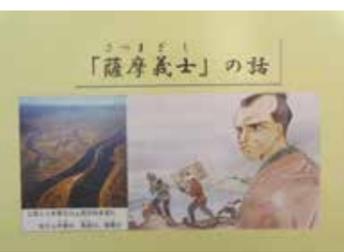
答 教科書のほかに「薩摩義士の話」などを活用し、先人の生き方や考え方に触れさせたいと考えている。これらの教材を活用し、道徳教育のみならず、すべての学校教育活動において、郷土を学び、また愛し、先人の教えを通して、志を抱く子どもへの育成に努めていく。



溝辺町宮路家のクリスマスツツジ

その他の質問

・長寿・障害福祉事業について
・本市特産品の振興事業（ブランド化等支援）について



副読本「薩摩義士の話」

その他の質問

・牧園庁舎建設について